

正誤表

2025年6月30日

2025年目標 TAC建築士講座

級	一級建築士 学科
科 目	構造
教 材	井澤式比較暗記法〔構造〕

「井澤式比較暗記法〔構造〕レジュメ」についての脱炭素大改正による訂正は以下のとおりです。

〔計画〕〔環境・設備〕〔施工〕レジュメについての訂正はありません。

日付	頁	誤	正
6/30	P133 〔構造No. 66〕 比較暗記法 中、 下2行	■ボードと筋かいを併用した場合 →それぞれの壁倍率の和とできるが、5倍が 上限。	■筋かいを併用した場合 →それぞれの壁倍率の和とできるが、5倍が 上限。 ■筋かいと面材を併用した場合 面材を併用した場合 →それぞれの壁倍率の和とできるが、7倍が 上限。
	P134 〔構造No. 66〕 テーマ問題の解答	問題4 正。壁倍率は5倍が上限。 問題5 誤。壁倍率は5倍が上限。	問題4 誤。筋かいと面材を併用した場合の 壁倍率の上限は7倍です。 問題5 正。筋かいと面材を併用した場合の 壁倍率の上限は7倍ですので、 $1.5 + 3.7 = 5.2$ とすることができます。 (※ 問題に変更はありません。)
	P138	〔構造 No. 68〕比較暗記法 中、右下の「階数、屋根の重量によって変わる(次図参照)」の 部分及び比較暗記法の罫囲みよりも下をすべて、P138の最下行まで削除。 (※「地震力」に対する必要壁量の算定方法が複雑になり、「重い壁、重い屋根、軽い屋根」 の基準が廃止されました。)	

以上のとおり、訂正をお願いいたします。